

マテリアリズムとヘドニズムの観点から見る「
夜王」における主人公の行動分析

デイシークルニア
0742022



マラナタキリスト教大学

文学部

日本文学科

バンドン

2012

序論

データとして、泉水良弘が監督した2006年作ドラマ夜王にあるホストクラブに基に分析する。

夜王はホストサービスを提供する「ホストクラブ」をテーマに製作されたドラマである。ホストのランキングシステムにはマテリアリズムとヘドニズムの環境の中での売り上げが関係している。このことからホストの競争が強くなり、マテリアリズムとヘドニズムの中での生き方は客を騙してお金を取り、客のホストに対する印象が悪くなる。

この「哲学の理論から、ドラマ夜王の中でホストで成功する主人公の分析」の中ではナンバーワンホストになるための方法についての分析である。

このドラマの中では全てのホストの人生が紹介されている。僚介は東京で働くために北海道から来た。東京で、麗実と出会い、ロミオクラブで働くことになった。麗実は日本で有名なファッションデザイナーであり、麗実は僚介を応援している。僚介は初めて働くので、ホストのやり方も分からない。ロミオでナンバーワンホストになるためには聖也と競争しなければならない。聖也はロミオのナンバーワンのホストであった。聖也と僚介のやり方は全く異なる。聖也は自分の幸せや、金のためなら客に何をしてもいいと思っている。僚介は客の幸せのために努力している。例えば、客の離婚をはじめとして、日常的な問題についての手助けをする。それが、ホストのプライドであると僚介は考えている。

本論では、「マテリアリズムとヘドニズム」理論を使い、簡潔に説明する。ドラマ夜王の中でマテリアリズムとヘドニズムは関係があり、意味が異なる。マテリアリズムは超常現象を否定する。金が最も大切なものである。

ヘドニズムは幸せを求めて辛い気持ち避ければ、人間は幸せを感じるという理論である。ヘドニズム理論の中で小売り主義や、快樂主義や、プライド主義などがある。

本論

マテリアリズムとヘドニズムの観点から、寮介は以前からホストではなかったため、ほかのホストと全く異なる。ほかのホストはマテリアリズムとヘドニズムが一番大切なものであった。寮介の考えはいい生活や、ナンバーワンホストになるため、ロミオで働いている。金は大切なものであるが、寮介のルールはほかのホストルールと全く異なる。マテリアリズムとヘドニズムスタイルのほかのホストの考え方には影響されたくない。

聖也はロミオでナンバーワンのカリスマ的ホストである。マテリアリズムとヘドニズムの観点から、聖也の考えではマテリアリズムとヘドニズムは大切なものである。客に唆すサービスをして、特別扱いをよくする。その結果、ロミオで聖也がナンバーワンのホストであった。寮介は聖也のルールを受け入れられない。

大河は以前「プロフェッショナルボクサー」であり裕福な家庭の出身だが、ホストの仕事を選んだ。ホストの仕事で大河がヘドニズム的生活をつつて行くにはボクサーより良い思っている。大河は名声を欲するあまり、ホストになり、暴力や恐喝に頼ることなく成功を掴んだ。ホストという仕事が自我や「性格」に変化をもたらしたが、彼の顧客からの要望のため、マテリアリズムとヘドニズムの中で演じ続けた。

蓮は以前にあるほかのホストクラブでナンバーワンホストであった。聖也のグループがベストホストであるから、聖也が蓮にグループの中に連れて行く。蓮は以前ホストクラブのやり方をしたため、ロミオのナンバーワンの聖也に敗れてしまう。元ナンバーワンホストの蓮は、僚介の行動を否定できない。なぜならば彼を否定することにより、過去のホストとしての自分の信念に傷を付けることになると思っていたからである。

結論

以上のことから見ると、ホストクラブの生活はマテリアリズムとヘドニズムに関わると言える。お金が一番の目的、即ち小売り主義からマテリアリズムが関わる。ヘドニズムには快樂主義とプライド主義があり、快樂主義は快樂を主にする思想であり、プライド主義は願望を実現することではこりと満足感を得る思想である。

ホストの仕事の役割はマテリアリズムとヘドニズムが一番大切なものであるが、僚介にとってはそうではないマテリアリズムことだけを

考えず、できるだけ客を喜ばせれば、客が簡単に金出すと思っている。
客にとっては喜ぶことができたなら、いくら金を出してもかまわないから
である。それが僚介のホストのやり方である。夜王から見て、マテリア
リズムやヘドニズムを重んじるだけではだれでも一番のホストにはなれ
ないと推測できる。客の幸せに直向に奉仕することこそホストの誇りで
あり、僚介のように成功の鍵を握ることができる。

DAFTAR ISI

HALAMAN JUDUL	i
HALAMAN PENGESAHAN	ii
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS	iii
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI	iv
KATA PENGANTAR	vi
DAFTAR ISI	ix
BAB I PENDAHULUAN	1
1.1 Latar Belakang Masalah.....	1
1.2 Pembatasan Masalah	7
1.3 Tujuan Penelitian.....	7
1.4 Metode dan Pendekatan Penelitian.....	7
1.5 Organisasi Penulisan	10
BAB II MATERIALISME DAN HEDONISME	12
2.1 Materialisme	13
2.2 Hedonisme.....	16
2.2.1 Money Oriented.....	21
2.2.2 Fun Oriented.....	22
2.2.3 Pride Oriented.....	24
BAB III ANALISIS TOKOH-TOKOH HOST DALAM FILM YAOU	26
3.1 Analisis Tokoh-tokoh Host dilihat dari peranan masing-masing dalam Film YAOU.....	26
3.1.1 Tokoh Seiya.....	26
3.1.2 Tokoh Ren	35
3.1.3 Tokoh Taiga	37
3.1.4 Tokoh Ryouzuke.....	40
3.2 Tujuan Host.....	71
BAB IV KESIMPULAN	77
DAFTAR PUSTAKA	80
SINOPSIS	x

RIWAYAT HIDUP..... xvi